



書家 加藤裕さん作 『久遠』

真宗高田派
賢隆山久遠寺
〒460-0007
名古屋市中区新栄1-4-6
Tel 052-241-5231
fax 052-241-5231
<http://kuonji.net>
Kenryuzan-kuonji@nifty.com

久遠寺住職の いま不思議ないのちを生きている!



大晦日から元旦にかけて5年ぶりという雪が降り、寺の境内の木々が一面の銀世界のようにになりました。地球温暖化という言葉も、一瞬忘れさせる思いがしましたが、日本海側では大雪となり、何か自然の姿が偏った傾向になり、大変心配なこととあります。昨年を現す漢字一字は「変」、今年の一字は「新」という一般公募の漢字でありました。政治も新しく政権が変わり、現在進行しつつあります。「新」とは、古いものが新しくなることです。昔の道具や生活、家屋、交通、通信、食物、言葉、文化、政治、そして人間の思考、体型など変わりました。世界の情報も一足早く伝わるようになり、また、その情報も複雑になり、コンピュータの操作で一つで混乱に陥る状況下であります。食物においても、偽装の事件も多々ありました。言葉にしても、すべての人に通じない、省略された言葉も流行っています。さらに政治が他の国の文化にも入り込み、干渉し、争いが絶えない状況であります。政治も今までの慣例的、惰性的なところを追求し、新しく国民の願いを叶えようと前進しているようでもあります。しかし、なかなか思い通りにいかないのが現実であります。人間も戦前と違って、食物、環境、医学の進歩によつて高年齢者が多くなり、年金問題、医療の問題もなかなか解決の糸口が見つかからない状態です。このように、人間の考えも変化し、常識も知識も変わっていきます。その根底には自然のルール「生老病死」の「愛別離苦」「怨憎会苦」「五蘊盛苦」「求不得苦」という四苦により、絶対逃れ得ないことを改めて考える必要があります。

変化して新しくなるのですが、古きを見直そうとして、人間回復された一例のある集落の中に見ました。その村は、老人が多く活気のない村でありました。しかし、ある一人の方が行動を起こし、村の一人一人を説得されたのです。「このままではいけない」と。説得を続ける中でバラバラであった人間関係が一つになり、荒れた草莽々の土地を耕し始めました。また昔プロであった人達が集会所も作り、大きな成果をもたらしたのです。人間同士の間、自分自身の価値、また責任感が蘇りました。人と人との間で、海の幸山の幸を交換し合い、季節によつての自然の恵みに感謝しておられる姿が、今私が忘れていた、全てのつながりの中に感動と感謝せねばならぬことに気付かされました。古き時代の人々が、努力され作りだされた建築物、文化の品々は今生き生きと蘇ってきます。そうすると、若い人たちが都会から帰り、観光も増加し、人々がいのちのつながりで共に生きていく姿を実感されたと思います。都会の人間は、人間が作り出した第二の自然の中で、便利さ、都合よさ、知識による考えの食い違いなどで人と人とのつながりを阻み、社会、家庭においても争いが尽きないのではないのでしょうか。

今年の干支は寅であります。一般的に肉食獣で、獐猛で、何者も寄せ付けない迫力がありますが、一方で「つしむ」「つやまう」という意味があるそうです。今こそいのちのつながりを喜び、人を敬い、慎む心を知らせて下さる教えを聞きたいものであります。その教えは、死ぬための話ではなく、私を明らかにしてくださる光であります。その光が、自然の恵み、親と子の関係、先祖の歴史、今生かさされている不思議さ、重さを知らしめてくれるのです。本当のことがわからない闇の中にいる私を照らし、敬い合える世の中になるように願いたいものです。最後にこのようなお言葉があります。

老いて感じることは 黙つて枯れていく
草や木の偉大さである」 善き人
合掌 久遠寺住職 高山元智

浄土をわが家!



親鸞聖人

表紙

選択本願は

浄土真宗なり

多くの仏様の願い誓いの中から
選び取られ、仏様は悩める衆生
の数だけ存在しています。本当の
ことがわからない、できない衆生
を目覚めさせようとされるのです。
一人一人が現実の事実生き、
仏様の清浄なる意思が報われた
世界である浄土に、生まれさせよ
うといつでもどこでもだれでも通
じる要を宗とするのが本意であ
ります。新しく生まれ変わつてく
れと願うと同時に、仏として仏の
名告りをされる。それを限らない
過去からの実体としてではなく、
はたらきとして示されたのが浄
土真宗であり、宗派の区別では
ないということです。

一月

往生というは

浄土に

生るといふなり

「往生」・往は行く、生は生きる、
生む、生まれる、という意味があ
ります。一般的には困ったときと
か、死ぬことの意味に使われてい
ますが、仏法では、誕生の時は、
生まれる、死ぬる時はお迎えが
くる、という如く私の意志は一つ
もありません。全てお任せなので
す。自分の生であります、賜つ
た生であり、自分の思い、自分の
都合で生きてきました、生まれな
がらからの願いを呼び覚まし照
らし明らかにして下さいます。こ
のことによつて自分の考えていた
生への思いが断ち切られ、清浄な
る環境の世界に生まれることで
あります。



二月

阿弥陀仏は光明なり

光明は智慧のかたちなり

阿弥陀は今あるいのちの不思議
さ感謝感動、また家族、社会
が温かい関係であることです。一
人一人が喜んで生きることがで
きるように人間の願いを明らか
にされ、誓われたのが阿弥陀とい
う名であり、徳であります。その
ような徳をもつた仏様が、おら
れたということではなく、温かい
慈悲で自分自身の分別の範囲
から抜け出せない暗闇に一筋の
光で照らし、事実を事実と領解
し、事実を生きる人間にならせ
て頂くのが智慧の光明であり、そ
れが信心であります。



三月

信は

うたがいなさき

こころなり

信ずるとは、一般的には人を信
ずる、会社を信ずる、政治を信ず
る、その他いろいろありますが、こ
ういふ場合は私の経験に基づいて
自分流に信ずる訳です。この信ず
るは、時、場所、時代が変われば
信じない場合もありますよと疑
いをもっているように思われます。
聖人のお言葉に「すなわちこれ真
実の信心なり。虚仮をはなれた
るところなり。本願他力をたのみ
て自力を離れたる。これを唯信と
いふ。この唯は、ただこのことひとつ
といふ。ふたつならふことをきらう
ことばなり」と。私たちは仏様を
偉い方と信じている自分と、信じ
ているから救つてくださいと求め
る心がある訳です。私がおかを信
じるのではなく、私の上に賜った
仏様のはたらきに有難う御座い
ますとうなずき、任せる心が疑い
なき智慧の信心であります。

仙教クイズ

あなたはいくつ答えられる？！

- ①流罪後、非僧非俗の名告りとして、〇〇親鸞としました。〇〇にはまるものは？
1、青禿 2、馬鹿 3、愚禿 4、阿呆
- ②親鸞聖人の流罪は何年後に許しがでた？
1、2年後 2、4年後 3、5年後 4、7年後
- ③親鸞聖人の流罪の許し後、どこに向かった？
1、京都 2、関東 3、中国 4、三河
- ④親鸞聖人が結婚したお相手の名前は？
1、覚信尼 2、恵信尼 3、篤姫
- ⑤僧侶が結婚したり、俗のような振舞を
なんという？
1、草食肉食 2、生臭坊主
3、肉食妻帯 4、肉食生臭

答えは、3ページの左下！！

久遠寺の掲示板



平成22年1月掲示

うとおしい〜)でございます
でも〇〇がうとおしいのでは
ありません
うとおしいと思う私の心が
うとおしいのです。

「うとおしい〇〇でございます。でも〇〇がうとおしいのではありません。うとおしいと思う私の心がうとおしいのです。」

〇〇のところへは、いろいろな言葉が入ると思います。各々の立場、境遇によって、うとおしいの心が起きてしまいますが、結論としては自分の思い、自分の都合です。私たちは、自分の思い通りになれば幸福で、思いどおりにならねば不幸と判断してしまいます。うとおしいと思うことがうとおしいと気づかせて頂くのは、本当の自分に目覚めてくれよ、との仏さまの願いであり、そのはたらきに遇わせて頂いたからであります。

昔は龜の甲より羊の功」といって経験豊かな羊寄りの知恵を重宝したものでした。深夜に幼児の情りに苦い夫婦がすぐに救急車を依頼する傾向や幼児を自転車の前後に乗せて走る危険な状況を聞いた見たりする時、昔の懐かしさ、楽しさが脳裏を掠めます。だからといって現状から逃避することは出来ません。時代が変わったのも事実であります。家庭も都会から山村まで電化製品で満ち溢れて高い意識で生活するようになったと思われまふ。生活様式は確かに様変わりは致しましたが、ここまでは変えたくないものです。子供はかわいらしく無邪気であってよく、女性は家庭を愛し夫婦相和して育児に喜びを持ち、男性は家族の幸せを念頭に置き、一層の發展に努力すること当然です。這えば立ては立てば歩め」の親心と申しますが、子供の成長は早いもので誠に「天陰矢の如し」と言わしめる所です。何事も持つ内が華。昔は人生五十年と言っておりましたが、医学の進歩や食糧の改善、生活様式の改善等にて現在では八十年代の寿命までアップ、世界でも一番の長寿の国までになりました。高齢社会といっても植物人間にたり人の手を借りぬば生活ができません。本当に生かされている人たちと言わねばなりません。

長編連載 『変え合い』⑤
昭和区 久遠寺檀家の一員さん

次号へ続く……

ご案内

★平成22年5月16日(日)
高田本山専修寺
『専修寺御影堂落慶大法会』

久遠寺檀信徒参詣

久遠寺にてバス参詣を計画中です。日程が決定致しましたのでご報告申し上げます。朝早くの出發となりますが、お勤めご法話後の講演には、五木寛之さんのご講演を聞かせて頂きます。このお慶びの法要に是非ご参加くださることを心より願っております。

※詳細は後日ご案内致します。



柳葉菩提樹金紋赤地菊桐唐草模様

※御影堂落慶大法会の記念品として、三千円以上ご志納の方に、打敷をご用意して下さっています。大きさは60cmと43cmです。ご希望の方は久遠寺までご連絡下さい。数に限りがありますのでご注意ください。

高田本山「お七夜」に
壇参してきました！



今年は、如来堂と御影堂に挟まれて集合写真

一月十五日(金)に高田本山専修寺報恩講「お七夜」へ皆さまと一緒に参詣して参りました。昨年と同様、常磐井鸞猷ご法主の「親教」を聴聞させて頂きました。「お育てして、お育てになる」の心の大切を始めに、「世の中安穏なれ、仏法ひろまれ」と平和と仏法興隆の願いをお伝えくださいました。また最後には「最近ではめっきりお念仏の音が聞こえなくなりました。昔は、よく聞こえました。が、昔の方に習い、よくよくお念仏致しますしよ」とお話くださいました。



常磐井鸞猷御法主「御親教」

「昔の方に習う」とはまさしく、先人の教えを聞かせて頂くことと思えます。「習う」ことを気付けて頂きながら一年過ぎたのものであります。今年で三

回目、本山「お七夜」壇参も定例となつてまいりました。ご縁がありましたら、是非ご参加ください。また五月にもご本山の落慶大法会(5/16)に壇参予定です。是非ご参加ください。是非ご参加ください。南无阿弥陀仏

編集後記

もうしばらくしますと、先代坊守私の祖母の一周忌になります。あつという間に一年が経ちました。最近、生前言われた言葉や行動が日が近くなるにつれて、思い出されます。いやなことや、いいこと全て私の為であったんだと「おかげさま」に気付かせて頂けました。そして「おかげさま」となつて私を導いてくれます。手を合わせ、今あることに感謝しながら、おかげさまを感じる日々を過ごしたいものです。南无阿弥陀仏

◎お経本は床に置かないで下さい。
◎皆様の寺報記事を随時募集中です。ご連絡をお待ちしております。

2010謹賀新年 今年もいっぱいいたタイガー(笑)!! 有難う御座います!!



北区 大橋和子さん



中区 加藤裕さん



東区 秋田晃男さん



南区 吉井直子さん

※お寺の本堂前渡り廊下に大切に飾ってあります。是非ご来寺の際は、ご覧くださいね。

是非皆様お揃いでご参詣ください。

今後の予定

5月16日(日) 出発時間未定	3月21日 午前8:30~	3月17日 午後1:30~	2月14日(日) ~16日(火)	2月19日 午後1:30~
壇参 高田本山専修寺 御影堂落慶大法会	お墓参り 讚佛会(春彼岸)	総集編法話会 阿弥陀経に聞く	報恩講 名古屋別院報恩講	第34回法話会 阿弥陀経に聞く
高田本山専修寺	平和公園	久遠寺本堂	専修寺名古屋別院	久遠寺本堂